

KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

週報



Weekly report 第3110回 2013年1月22日 2013年1月29日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週発生したアルジェリアのテロ事件で、悲しいことに大勢の日本人を含む人質の方が犠牲になりました。テロリストに対する一切の妥協を拒否するというアルジェリア政府の強い姿勢に対しては、さまざまな評価がありますが、いずれにしても大きな犠牲者が出たことに言葉ありません。平和ボケと言われる国内にいても、現場で働くということはどういうことか感じ、常にこのような危険と背中合わせで働く日本人やそのご家族がいるということを忘れないでいたいと思います。どんな善意で接しようが、その善意や好意が全く通じない暴力が世界には常に存在するという常識を、我々はしっかり受け止めていなければならない。

今回のこの悲惨な事件を契機に、政府は政府専用機や自衛隊機を派遣して日本人支援、保護のための措置をとることを検討始めたということです。ようやく、これで日本も、普通の国民を大切にす国へと変わりつつあるように思いますが、逆に、これまで本当に情けない状況だったということになります。例えば、1985年3月20日、イラン・イラク戦争の最中、サダム・フセインの無差別攻撃期限の迫るテヘランに取り残された300人余りの日本人救出のために、自衛隊機は「安全が確認された地域への出動ならば可能である」という規定により出動できない。日本航空への依頼に対しては、職員組合から「安全に懸念があり」としての断りが入るといった状況で、政府は救出そのものを断念するといったことが起こりました。その直後のギリギリの時点で

トルコ航空機2機が志願して間一髪で救出したという実話があります。これは明治23年のトルコの海軍艦エルトゥール号の和歌山沖の遭難事件との関連が有名ですが、それ以外にもインドネシアのスカルノ大統領が失脚したクーデター内乱事件の時、日本人保護に関する日本政府の対応のひどさを、当時、現地で勤務していてあやうく難を逃れた当会の安光会員から伺ったこともあります。いろいろな事例を聞くにつれ、戦後この国がいかに自国民の危機に際してノーテンキで利己的で冷たい国なのかを思い知らされてきました。

今、この瞬間もアフリカだけでなく、世界中の多くの地域でたくさんの日本人が、不潔で不便な環境の中、危険と向き合いながら日夜奮闘しています。私も10年程前、ミャンマーの首都ヤンゴンにタイの子会社の社員たちと出張した日、タイとミャンマーの国境地帯で銃撃戦が始まり、即座に国境封鎖とタイ関係者の拘束が行われるといううわさがあり、あわてて空港に駆けつけ、深夜脱出した恐怖の経験があります。銃を構えたミャンマー軍の兵士に囲まれ、不確かな情報しかない中で心細く待ちわびる我々の耳に、豪雨の中を下りてくるタイ航空機のエンジン音が聞こえた時は、思わず手を合わせ、拍手したいような気持ちでした。日本は世界中で汗をかき、命かけて働く人々を見捨てない国でありたいと思います。

今日は、比較的安全な国から関会員が帰って来られました。後ほどお土産話をお聞かせくださるそうです。

本日の卓話は、国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所長の三保木悦幸様から「高知県における国道整備」と題したお話を伺います。

高知クラブが心を1つにして支える関 裕司ガバナーエレクト

■活動報告他

- ・1月26日(土) 第1回青少年短期交換プログラム委員会
／ガバナーエレクト事務所 →4ページ目に関連写真
- ・2月 9日(土) 高知地区合同IM
／ザクラウンパレス新阪急高知
- ・2月12日(土) R財団ゾーン会議／東京



サンディエゴ

■本日のプログラム [1月29日] ゲストスピーチ

高知市副市長 中嶋 重光 氏 「私の10大ニュース 2012年の回顧と2013年の抱負」

● **ロータリーソング** 「我らの生業」

● **今週のピアノ曲** 「神田川」 ピアノ演奏：山内るり会員



● **関 裕司ガバナーエレクト帰国報告**

今朝、帰ってまいりました。

3カ月ぐらい前からメールが来て、ガバナーエレクトはせめて大会前にいくらかでも財団に寄附してほしいということで、私も寄附をしました。会議では、65万ドルほどの寄附が集まり、我々の年度は一番寄附が多かったのでファーストクラス。来年度はセカンドクラスになるだろうと、次年度のロンバートン会長が挨拶をしました。そして、来年度のテーマは「エンゲージロータリー、チェンジライブス」です。

大会議は世界の532地区からガバナーと配偶者等々1200人余りが集まって、サンディエゴの大きなホテルの会場で行われます。午前は、主にスピーチを聞くのが中心です。午後は分科会で、話を聞く場合と日本人ガバナー同士で話し合い、研修をします。夜は時々パーティーがあります。最終日にはロータリー財団の研修があって、地区の財団委員長200人位も参加して、合計1500人ぐらいになります。

最初の日、次年度大会の行われるリスボンから招致委員の方達と一緒に食事をするように呼ばれて行ってみると、名前入りのバッジとリスボンの大会バッジをもらいました。

各国のガバナーたちと名刺交換をする時のために、小さなギフト、1つはブックマークともう一つはお寿司の形をした消しゴムを作って持って行き、名刺と一緒に交換しました。大会中は名札を付けて、どこの誰かが分かるようにして1週間過ごしました。

詳しい内容はまた改めてお話しします。



● **国際奉仕委員会・世界社会奉仕委員会より**

「水からプロジェクトについて」

これは、東日本大震災の被災地で、仮設住宅で生活されている方の中でお水に困っている方がいると聞き、2670地区の世界社会奉仕委員会から水を届けるため、皆さんに寄附をお願いするものです。1ペットボトル100円、1人1000円を目途によろしくお願いします。



● **幹事報告**

・昨日の会長・幹事会報告

地域で奉仕活動に顕著な働きをしているロータリー以外の個人や団体を、地区大会でガバナーが地域ボランティア特別賞として表彰します。各県1件ですが、皆さんの身近で奉仕活動をしている個人や団体があれば、中澤社会奉仕委員長まで連絡をしてください。





● ゲストスピーチ

高知県における国道整備

国土交通省四国地方整備局 土佐国道事務所長

三保木 悦幸 氏

私は三保木という姓ですが、両親共高知出身ですので、私の血筋は100%高知です。3年前、この事務所に赴任して35年振りにふる里に戻ってきて以降、道路整備の圧倒的に遅れている高知のために必死で頑張っているところです。

土佐国道事務所の仕事は、高知県内の幡多エリアを除く2桁国道、32、33、55、56、これと高速道路の一部についての整備、管理をしています。

高知県は日本屈指の豪雨地帯で、年間降雨量は3,000mm、多い所では3,500mmを超えています。平均降水量も全国平均の1.5倍、東南アジアの亜熱帯地域並みとなっています。こういった豪雨地帯にもかかわらず、道路状況は脆弱です。国道32、33号では大量の雨が降れば道路の斜面が崩落したり、落石が発生する恐れがあります。特に危険の高い所は一定量の雨が降れば通行止めにするという事前通行規制区間を抱えており、この割合は四国の直轄国道の内10.8%。その中でも高知県が半分を占めています。さらに、南海トラフ巨大地震の危険性が大きく、最大震度7が高知県内34市町村のうち24市町村。津波高は黒潮町、土佐清水市では国内最大の34mを筆頭に沿岸部は軒並み20m前後となっています。高知県は特に海岸線に沿って、人口、資産、道路も集中していますので、こうした津波が発生すれば甚大かつ壊滅的な被害が危惧されます。

こうした災害の際に有効に機能し、命の道の役割を果たす高規格道路として、四国では8の字ネットワークを計画、整備をしています。津波の被害が大きい高知県沿岸や徳島の南といった所ほど道路ができていない状態です。四国全体の整備率は7割程度ですが、高知県は49%、香川は100%。全国的にも地方較差がある中で、四国内ですら較差がある現状です。

東日本大震災の際、人命救助、緊急物資の輸送、復旧・復興を含めて道路は大きな貢献を果たしています。三陸循環道は震災当時、計画の半分近くが供用済みで、この道路はそもそも津波を想定して非常に高い位置を通るように造られていました。国道45号線は津波によって一部流出するなど大きく被災しましたが、三陸循環道はほとんど無傷でした。その結果、住民が道路の盛土斜面を駆け上がり避難場所として機能したということもありました。釜石では、小中学校の生徒570人が高規格道路を通過して避難しました。現道は大きく被災していますので、もしこの道路がなければ、恐らく避難所までたどり着くことができずに孤立していたのではないかと思います。それ以外に、我々としても当初は想定しなかった効果としての典型例が防潮堤としての役目です。仙台東部道路は、周辺より高い、7~10mの高さで道路があったために、230人の住民が避難しています。



また、被災後にはすぐに救急搬送や救援物資を輸送する道となっています。こうした大規模災害の際に必要な救助活動等は、全て道路を通じて行われますので、道路管理者としては、1にも2にも道路を繋ぐということが大きな使命になってきます。大規模災害の場合は、緊急車両が何とか通るようにする啓開という作業が必要になり、これを東北では櫛の歯作戦と称して対応しました。まず、被害の少ない縦軸を通れるようにし、次に横軸、被害の大きい太平洋側へのアクセス、最後に被害の甚大な縦軸を通れるようにしました。第1ステップは翌日、横軸ステップは4日後に15本、一番被害の大きい縦軸ですら1週間後には97%通れるように迅速に対応したことで、人命救助や後の復旧に寄与したことで評価をいただいています。

こうしたことは四国でも考えておかなければいけませんので、今、我々もこの教訓を生かしてオペレーションの具体化を進めています。考え方としては東北と同じで、まず被害の少ない瀬戸内側を通れるようにし、被害甚大であろう縦軸を通行可能とし、最後に太平洋側を通していこうというイメージを持っています。

ただ、なかなかうまくいかないのが高知の東部地域で、縦軸が余りありませんので、より強靱な四国8の字ネットワークの整備も進めていかなくてはならないと思っています。

我々は、先ほどの2桁国道プラス高知道を整備、管理しており、その延長300kmに達します。四国8の字ネットワークの整備、渋滞対策、防災対策を目的として事業を進めています。四国8の字ネットワークの西側、高知道の須崎西インターから四万十町中央インターまで無料の高速道路として、国直轄で整備を進めてきました。2年前に須崎西から中土佐インターまで供用し、12月9日、四万十町中央まで供用できました。高速本線で1万数千台、現道を含めると3~6割増えており、幡多エリアへの経済効果は大きいと考えています。8の字ネットワークの東部は、高知・南国道路、南国・安芸道路、安芸道路、大山道路の4つの区間のみ事業中です。

渋滞対策としては、いの町の渋滞緩和を目的に高知道のいのインターからいの町中心部方向55.5km区間を整備していて、その内、仁淀川を渡る天神インターから鎌田インター区間を12月22日に供用しています。あとは27年度の開通を目指しています。防災対策としては越知道路の越知町中心部より松山側等で事前通行規制区間の解消。32号の大豊町内の大規模地滑り地帯の解消を図るべく事業を進めています。その他、道路の維持修繕、防災事業、揺れへの備え、歩道整備と交通安全等々を、今年度予算総額184億と維持修繕費20億余りの規模で事業を進めています。

年末に大きく報道されました笹子トンネルの事故を受けて、同構造のトンネル（大豊トンネル）の点検を行い、軽度な異常が認められ対応をしています。今、日本では、公共投資がピーク時と比べて半減しています。道路の老朽化対策、あるいは南海地震等の災害に備えて、あるべき投資をしっかりと議論すべき時期に来ているのではないかと個人的には考えています。いずれにしても、高知県の未来のために、未来に残るインフラ整備のために我々も頑張っていますので、今後とも皆さんのご支援を賜れたらと思います。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知ロイヤルRC	2月 5日	観梅夜間例会(旭)	高知中央RC	2月 7日	創立夜間例会(城)
高知東RC	2月13日	観梅夜間例会(阪)	高知 R C	2月19日	ロータリー創立夜間例会(三)
高知西RC	2月22日	夜間例会(三)	高知南RC	2月28日	夜間例会(阪)

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	マークアップ	出席率
1月22日	(-7)87	53	19	8	76.25
1月 8日	(-8)87	59	7	13	83.54



😊 ニコニコ箱

- 関 裕司** 1週間のサンディエゴでのガバナーエレクト研修会(正式には国際協議会)を終え、今朝無事帰ってきました。詳しい報告は後日させていただきます。
- 小山 勝久** 親睦委員会の小山です。高知ロータリーの皆様には日ごろから、高知でロータリー活動しているビール会社はアサヒだけだから応援していると、心強いエールをいただき感謝、感謝です。今回は、本日発売のWBC応援の期間限定商品「ウィニングブリュワ」と2月下旬にリニューアル発売のノンアルコールビール「ドライゼロ」と3月12日に新発売の新ジャンル最高級のkokとクリアな後味が特徴の「プライムリッチ」を持ってまいりました。高知ロータリーの皆様に試していただきたくニコニコいたします。来週もご案内する新商品を持ってきます。
- 中村 裕司** 関ガバナーエレクトお帰りなさい。空港でお迎えしましたが、敬子夫人もお元気で、新婚旅行から帰ってきたようにお幸せそうでした。
- 久松 朋水** 長らく欠席いたしまして申しわけありませんでした。中村幹事に大きな声でご挨拶いただき大恐縮です。
- 田中 康晶** 昨年度、33会のゴルフに1回しか参加できませんでした。そのため、準会員協力賞をいただきましたのでニコニコします。
- 竹内 克之** 女房の誕生日に花をいただきありがとうございますございました。
- 吉原 馨** 家内の誕生日に美しいお花をいただきありがとうございますございました。正月早々(1月2日)ですので、毎年、花輝さんには申しわけありません。

◇ ご報告 ◇

22日に例会ご出席の会員の皆様より「水からプロジェクト」募金箱に、合計 45,000円 入れていただきました。

また、個人的に関裕司会員からもご寄付いただきました。

1月24日にガバナー事務所に送金します。



◇ 1月26日 第1回青少年短期交換プログラム委員会



● 累計額 [1月22日現在]

ニコニコ箱	599,100 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	93,602 円	ポリオ募金	235,593 円
-------	-----------	--------------------------------	----------	-------	-----------

■ 次週のプログラム [2 月 5 日]

ゲストスピーチ
依光瓦工業 専務 依光 晃一郎 氏
「あんぱんマンとやなせたかし先生」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>